

データ抽出の操作手順

抽出プログラムの機能：

指標値型データの抜き出しプログラムは、Excelシート上にある項目一覧表の各項目の抜き出し指示にしたがってデータを抜き出します。抜き出しはRID項目の指定、データセルの指定、レコード数の指定が可能です。

Excel-VBAで作成しています（Microsoft社のExcelが必要（Excel2010（Windows7および8.1）、Excel2016（Windows10）で動作確認を行っております。））。

手順概要：

Excelを起動したのちに抽出用プログラムを開いてください。プログラム名は世帯構造・従業地・通学地・移動人口に関する集計（町丁・字等別結果）の場合は「SELH27KK3S.xlsm」になります。

プログラム起動後の処理は、次の2つのステップに分かれています。

1. Excel シートの項目一覧表上に抜き出しの指示をする。
抜き出したい項目に*を入れる。
2. 抜き出し元となるファイル、抽出済み結果の保存先、最大レコード数を指示し、実行する。

補足：

町丁字等別集計は集計値のほかに次の情報が付加されています。この情報はRID項目に記録されています。

(1) 秘匿情報

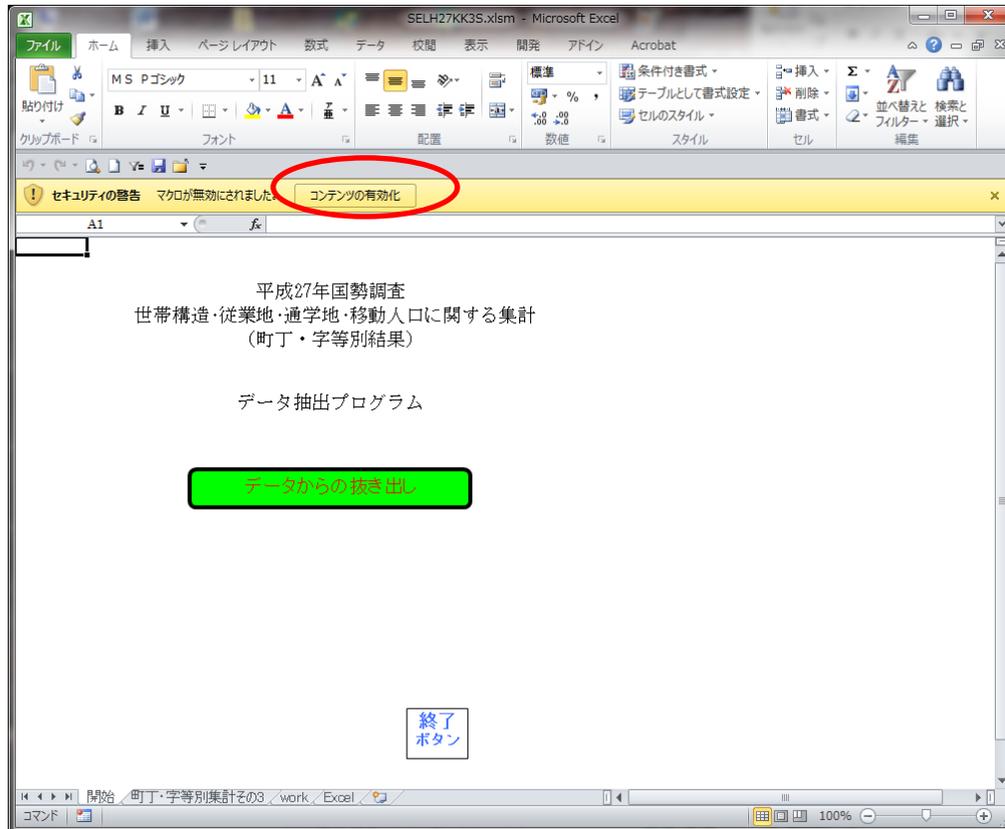
町丁字等別集計は秘匿措置がされている。秘匿情報は秘匿地域の町丁字等コードであり、秘匿先、秘匿元の2種類の意味合いがある。秘匿についてはこの説明書の最後の項を参照のこと。

(2) 町丁字等名称

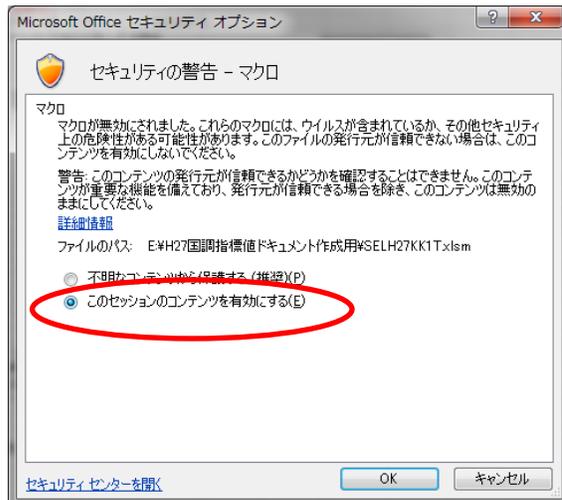
漢字の町丁字等名称を記録している。

操作手順:

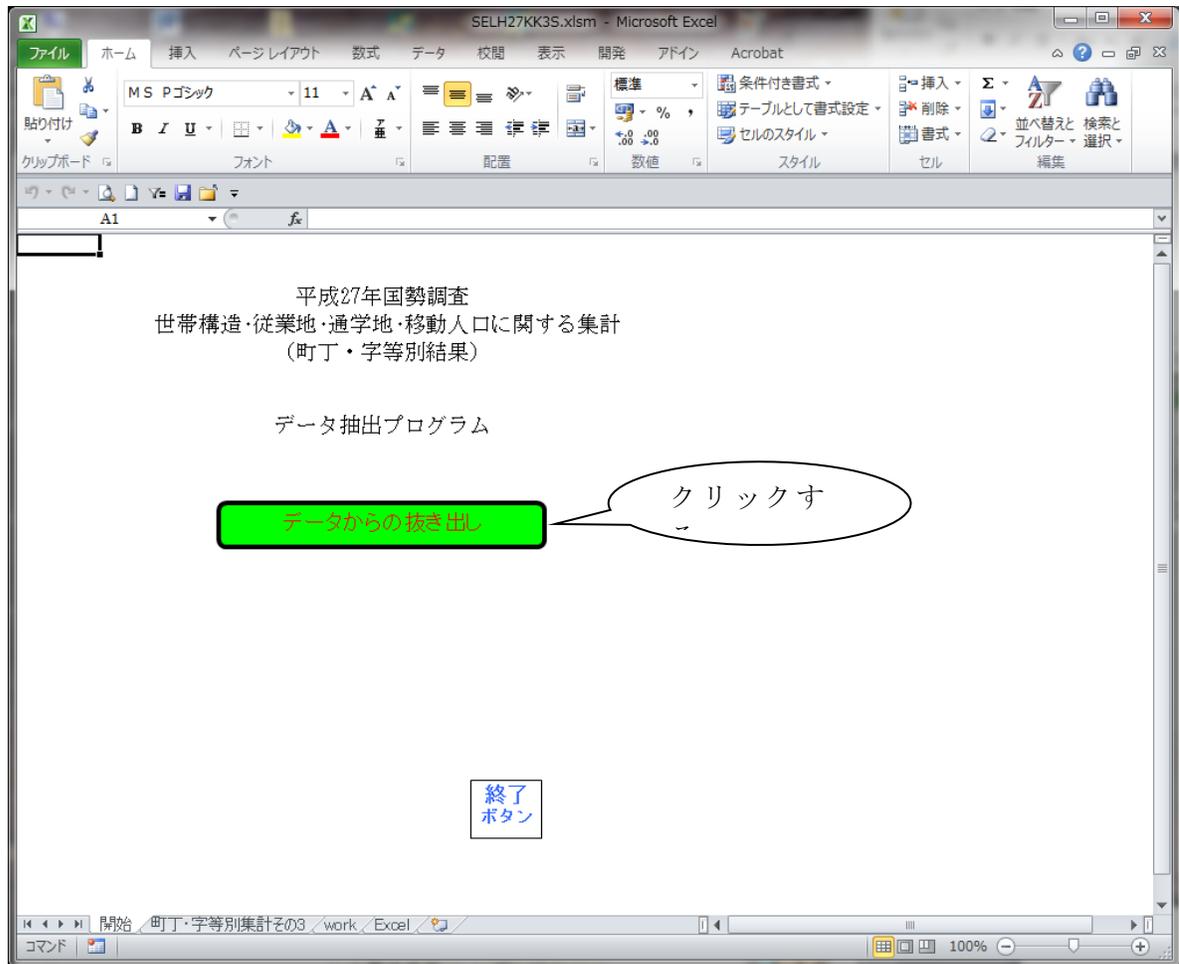
1. 抽出プログラムを起動し、「SELH27KK3S.xlsm」をExcelに読み込む。
※セキュリティの警告の際に「コンテンツの有効化」をクリックする。



下記が表示された場合は、「このセッションのコンテンツを有効にする」にチェックを入れてOKをクリックする。



2. 最初の画面で「データからの抜き出し」をクリックする。
クリックすると集計別の項目選択Excelシートが表示される。



3. Excelシート上に必要事項を記入（キーイン）する。

(1) RIDの選択

ファイルIDから合算地域までの項目のうち、抜き出したい項目には、第1列目（A列）に*（全角、半角いずれでもOK）を入れる。また、第3列目（C列）以降の列に抜き出し対象となるデータのコードを記述する。複数ある場合は第4列目（D列）、第5列目（E列）と順次記述する。

(2) 集計数値項目の選択

抜き出したい項目には、第1列目（A列）に*（全角、半角いずれでもOK）を入れる。

4. 指標値型CSVファイル等の必要事項を指定する。

※抜き出し先EXCELファイルの拡張子は「.xlsx」(EXCEL2007以降のファイル保存形式)としている。

The image shows two overlapping windows. The top window is titled '指標値型データのデータ抽出 V3' (Indicator Value Data Extraction V3). It contains fields for '元ファイル' (Source File) with a '参照' (Reference) button, '抜き出し先ファイル' (Destination File) with a '参照' (Reference) button, and '抜き出し最大レコード数' (Maximum Number of Records to Extract) set to '全て' (All). A '実行' (Execute) button is at the bottom right. The bottom window is titled 'ファイルを開く' (Open File) and shows a file explorer view of 'C:\works' with a file named 'H27KK3S02.dat' selected. A callout box provides instructions on how to select files.

指標値型データのデータ抽出 V3

平成27年国勢調査 小地域集計
指標値型データをデータ抽出します

元ファイルの名前 (kkは県番号)
データ: H27KK3Skk.dat

元ファイル 参照

抜き出し先ファイル 参照

抜き出し先ファイルの種類
 CSV
 Excel

抜き出し最大レコード数 (含む見出し行) 数字以外を入れると対象となったもの全てとします。

もどる 実行

抜き出し結果のタイプを選ぶ。

参照をクリックすると「ファイルを開く」ダイアログが表示される。

抽出最大数を指定する。全ての場合は、「全て」と指定する。

抽出元データと抽出先データ名を指定すると表示される。

ファイルを開く

ローカルディスク (C:) > works

worksの検索

整理 新しいフォルダー

名前

H27KK3S02.dat

1. 抽出先データを選ぶ。
名前は世帯構造・従業地・通学地・移動人口に関する集計 (町丁・字等別結果) の場合は、[H27KK3Skk.dat](#) である。kkは県番号。ダブルクリックで選ぶ。

2. 抜き出し先のデータを選ぶ。
新規の場合は、ファイル名をキーインして「開く」をクリックする。

ファイル名(N): 集計データ (*.dat)

ツール(L) 開く(O) キャンセル

「実行」ボタンをクリックして抽出を開始させる。
抽出が終了したら「もどる」ボタンをクリックする。

利用上の留意点

(1) 秘匿について：

平成27年町丁・字等別集計での秘匿は、人口または世帯数が極めて少ない地域の集計結果を秘匿する。すなわち、秘匿対象となる地域は全ての集計表において秘匿される。秘匿されたデータは一定の手順に基づいて他の地域（町丁・字等別の場合、原則は直前の地域）に足し上げられ、どこからどこへ足し上げられたのかの情報はCSVデータの「秘匿処理」及び「秘匿先情報」「合算地域」に記録している。

(2) 集計データについて：

該当数値なしは「-」、秘匿され隠されたデータは「X」としている。